
三菱UFJフィナンシャル・グループ
IR Presentation

2006年2月

Quality for You



MUFG

本書には、株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（以下「当社」という）およびそのグループ会社（以下「当グループ」という）に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、当社が現在入手している情報に基づく、本書の作成時点における予測等を基礎として記載されています。また、これらの記述のためには、一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述または前提（仮定）は主観的なものであり、将来において不正確であることが判明したり、将来実現しない可能性があります。このような事態の原因となりうる不確実性やリスクは多数ありますが、これらに関する追加情報については、当社の決算短信、今後発行される有価証券報告書、ディスクロージャー誌、Annual Reportをご参照下さい。なお、本書における将来情報に関する記述は上記のとおり本書の日付（またはそこに別途明記された日付）時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。また、本書に記載されている当社ないし当グループ以外の企業等にかかわる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。

なお、本書の計数は日本会計基準ベースの数値を使用しています。

<本資料における計数の定義>

- 連結合算** : 三菱UFJフィナンシャル・グループ（連結）。2005年度中間期以前の計数については、三菱東京フィナンシャル・グループ(連結)とUFJホールディングス(連結)の単純合算
- 単体合算** : 東京三菱銀行（単体）、UFJ銀行（単体）および三菱UFJ信託銀行（単体）の単純合算。2005年度中間期以前の計数については、東京三菱銀行（単体）、UFJ銀行（単体）、三菱信託銀行（単体）及びUFJ信託銀行（単体）の単純合算

・特に断りのない限り、UFJ銀行にはUFJストラテジックパートナー、UFJエクイティインベストメンツを、UFJ信託銀行にはUFJトラストエクイティを含む

業績の概要

● 2005年度中間決算サマリー (P/L)	4
● 2005年度中間決算サマリー (B/S)	5
● 部門別業績概要	6
● リテール部門	7
● 法人部門	8
● 受託財産部門	9
● 2005年度第3四半期業績サマリー (P/L)	10
● 2005年度第3四半期業績サマリー (B/S)	11
● 2005年度業績予想	12

経営統合の進捗状況

● 経営統合の進捗状況	14
● 公的資金の返済	15
● 商業銀行の円滑な統合実現 (Day1)	16
● 財務目標	17
● 部門別収益目標	18
● システム本格統合(Day2)について	19
● 統合シナジーの発現	20

Appendix

● 【ご参考】健全化計画の概要 (1)	23
● 【ご参考】健全化計画の概要 (2)	24

業績の概要

経営統合の進捗状況

2005年度中間決算サマリー (P/L)

【連結合算】



MUFG

(億円)

- **業務粗利益は前年同期比微増**
 - 手数料収益増加の一方、資金収益・国債等関係損益は減少
- **営業費は前年同期比+338億円**
 - 経费率52.1% (前年同期比+1.8ポイント)

単体経费率 (除くUFJ分離子会社)

45.7% (前年同期比+1.1ポイント)
- **顧客部門営業純益は順調に増加**
 - 顧客部門営業純益比率は84%に上昇
- **与信関係費用は約1兆円改善**
 - 下期に見込んでいた大口先の業況改善による引当金戻入の前倒し分も寄与

＜統合関連費用＞

臨時損益・特別損益として約1,600億円を上期に計上
(当初見込み額：年間3,600億円)

＜連結合算P/L＞

	04上期	05上期	増減
1 業務粗利益 (信託勘定償却前)	16,923	16,973	49
2 うち資金利益	9,179	8,579	▲ 599
3 うち役務取引等利益	4,431	4,840	409
4 うち国債等関係損益	974	512	▲ 461
5 うち金融派生商品損益 (4行単体合算)	▲ 422	▲ 6	415
6 営業費	8,499	8,837	338
7 実質業務純益	8,424	8,135	▲ 288
8 臨時損益	▲ 16,509	▲ 762	15,747
9 経常利益	▲ 1,645	7,363	9,009
10 特別損益	621	3,244	2,622
11 中間純利益	▲ 5,026	7,117	12,143
12 与信関係費用*1	▲ 7,541	2,745	10,287
13 与信関係費用*1 (4行単体合算)	▲ 6,878	3,784	10,663

(▲は費用)

*1 与信関係費用=信託勘定与信関係費用(業務粗利益内) + 一般貸倒引当金繰入額 + 与信関係費用(臨時損益内) + 貸倒引当金戻入額

＜ご参考＞

14 顧客部門営業純益 *2 (対業務純益比率)	6,569 (76%)	6,859 (84%)	290 (+8ポイント)
15 手数料収益 *3 (対粗利益比率)	6,506 (38.4%)	7,162 (42.2%)	656 (+3.8ポイント)

*2 リテール、法人(含むUNBC)、受託財産の対顧客3事業の営業純益

*3 役務取引等利益+信託報酬(除く貸信・合同) + 対顧客デリバティブ収益(管理ベース) + 外為売買益(4行単体合算)



MUFG

(億円)

- 貸出金は05/3末比+6,993億円
 - 住宅ローン、海外貸出が増加
 - 国内法人貸出は、大企業貸出と要注意以下先の減少を主因に減少
- 預金は05/3末比+4,267億円
- 開示債権は引続き減少
 - 開示債権比率は2.72%に低下
- その他有価証券の含み損益は株式中心に7,322億円増加
- 繰延税金資産対Tier1比率は約14.4%に低下
- BIS比率は合算ベースで約12.0% (Tier1比率約6.5%)

<連結合算B/S>

	05年3月末	05年9月末	増減
1 貸出金 (銀行勘定+信託勘定)	850,031	857,024	6,993
[貸出金 (銀行勘定)]	[838,010]	[853,076]	[15,065]
2 うち国内法人貸出(4行単体合算)*1	535,604	531,410	▲4,194
3 うち住宅ローン(4行単体合算)	182,022	184,871	2,849
4 うち海外貸出*2	99,525	109,534	10,008
5 有価証券	505,941	522,531	16,589
6 預金	1,182,744	1,187,011	4,267
7 国内預貸金利回り差(4行単体合算)	(04上期) 1.44%	(05上期) 1.38%	▲0.06ポイント
8 金融再生法開示債権 (4行単体合算)	30,080	24,857	▲5,223
9 開示債権比率 (4行単体合算)	3.33%	2.72%	▲0.60ポイント
10 その他有価証券評価差額	13,849	21,171	7,322

<ご参考>

11 保有株式対Tier1比率 *3	67%	57%	▲9ポイント
12 繰延税金資産 (ネット) 対Tier1比率 *3	25.7%	14.4%	▲11.3ポイント
13 BIS自己資本比率 (Tier1比率) *3	11.52% (5.91%)	12.00% (6.52%)	+0.47ポイント (+0.60ポイント)

*1 傘下銀行から持株会社宛の貸出金を除く

*2 海外支店貸出+海外現地法人貸出

*3 MTFG・UFJH単純合算から、Tier1額7,000億円 (MTFGよりUFJ銀行への資本注入額)をマイナス調整

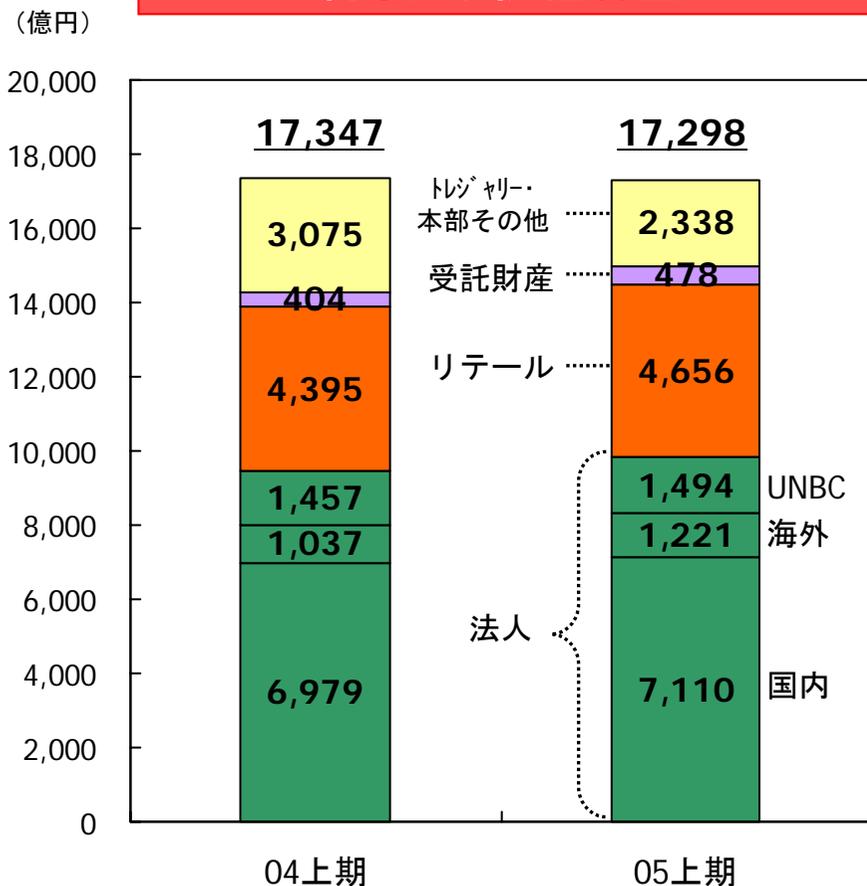
部門別業績概要

【連結合算】

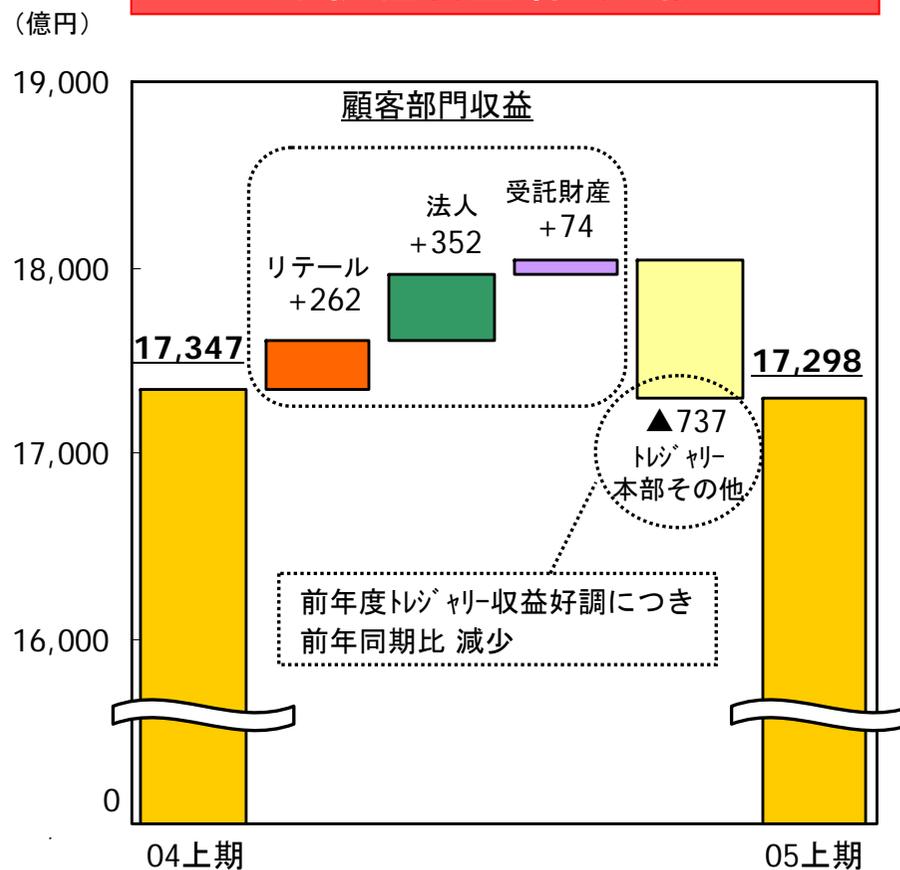


- 手数料収益増を主因にリテール・法人・受託財産の対顧客3事業はいずれも増益
- トレジャリー収益は前年同期が好調であったこともあり減少

部門別業務粗利益*1



業務粗利益増減内訳*1



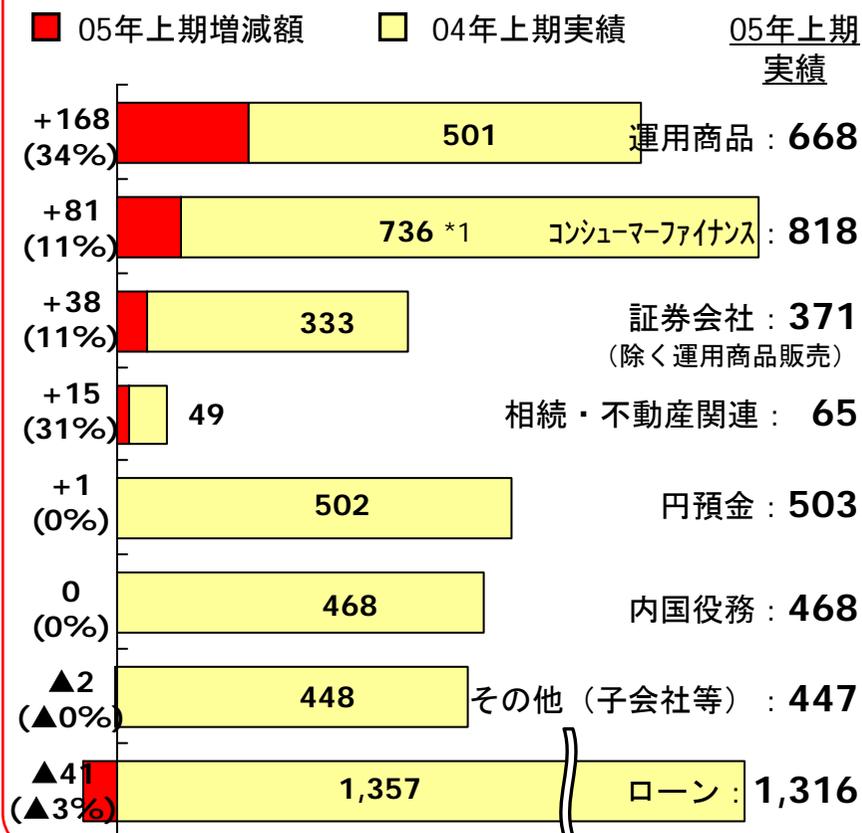
*1 管理ベース（子会社からの配当金収入を除く内部取引消去前の連結粗利益）



- 業務粗利益は前年同期比+262億円の4,656億円
～運用商品販売を中心として手数料収益が好調

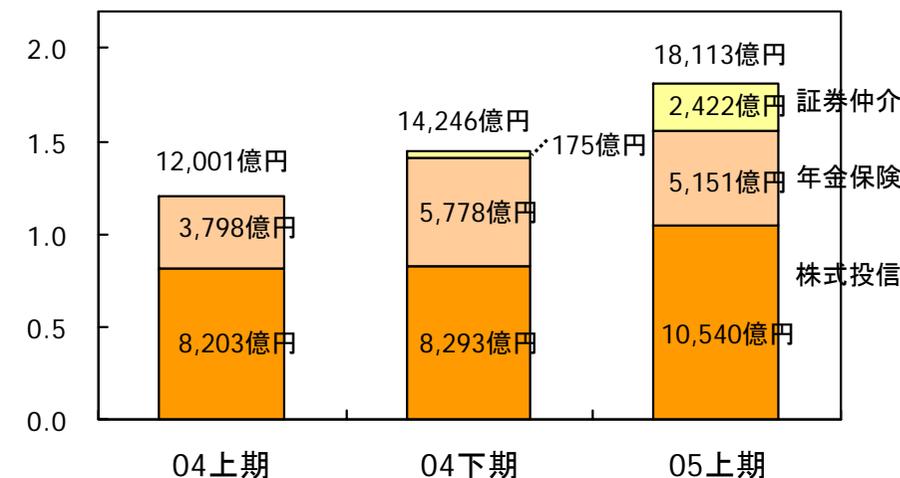
リテール連結事業本部粗利益

05上期 4,656億円 (04上期比+262億円)

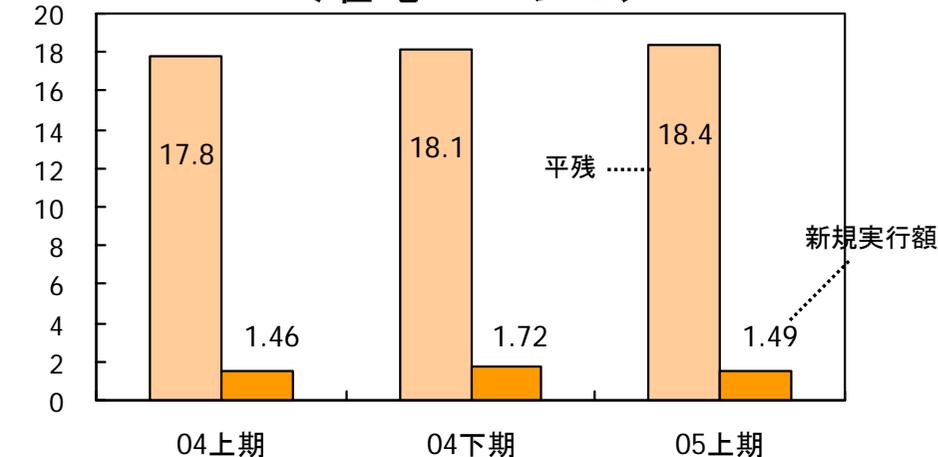


*1 旧東京三菱キャッシュワンを除く

＜運用商品販売額＞ (銀行+信託+証券)



＜住宅ローン*2＞

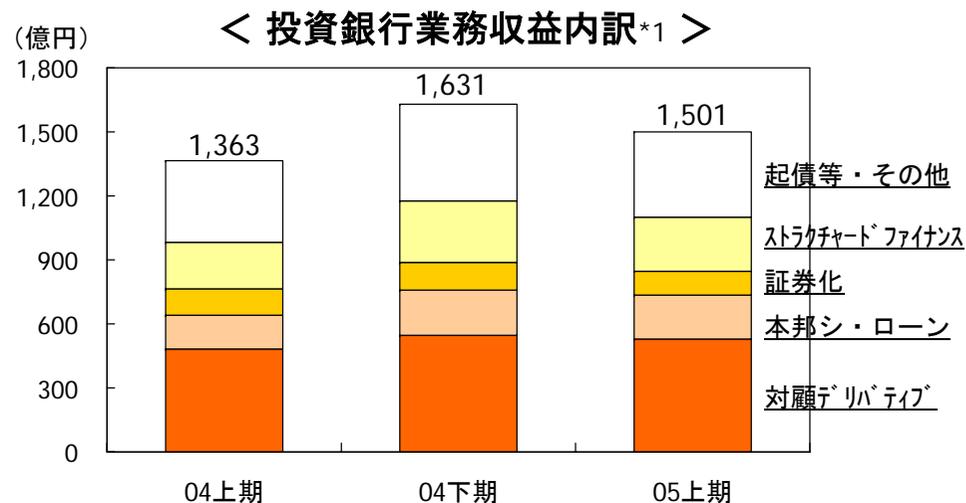
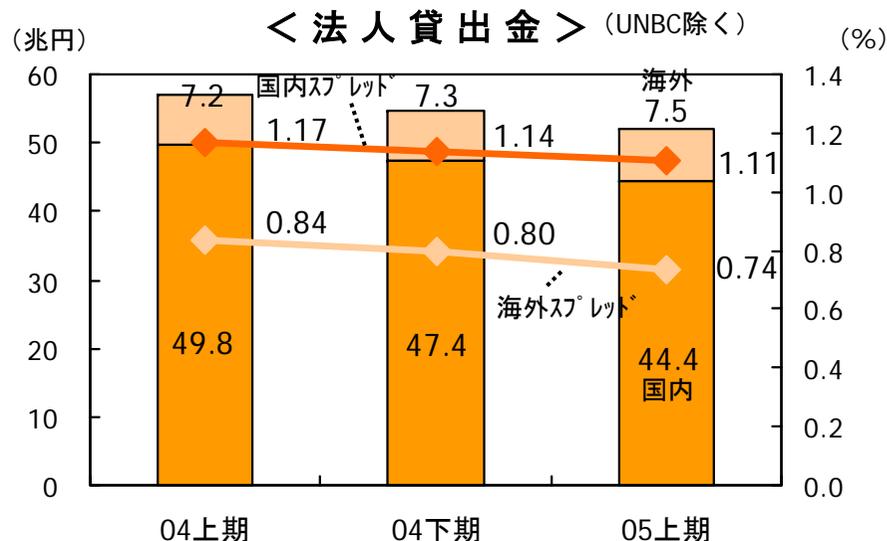
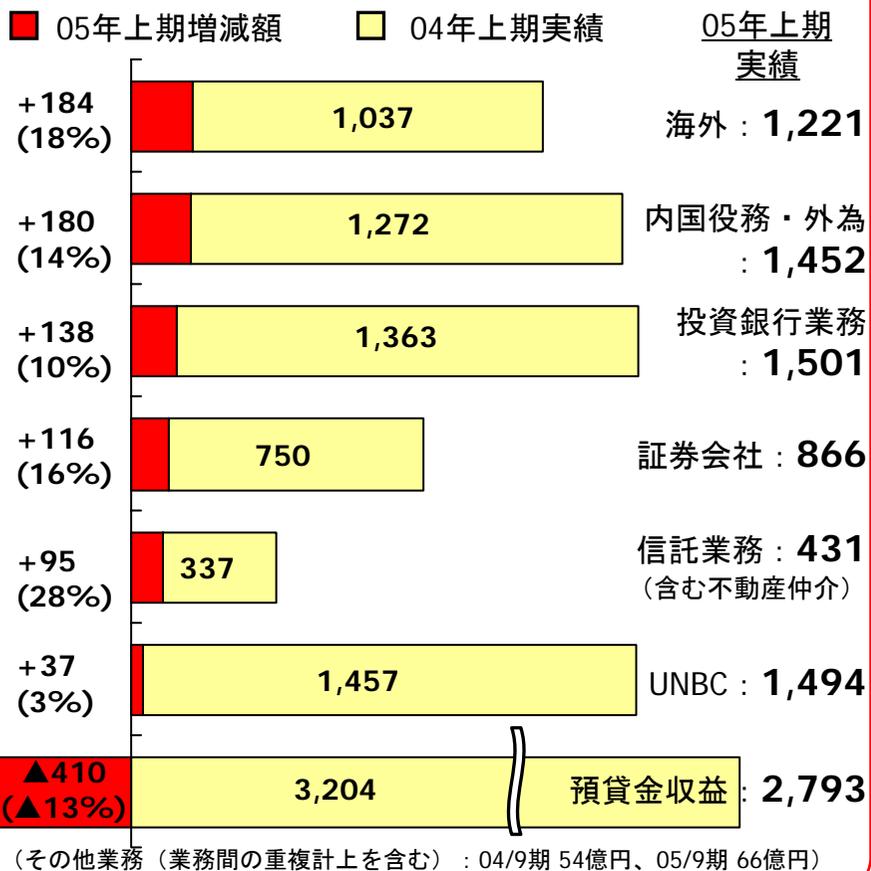


*2 賃貸用不動産建築資金を含む

- 業務粗利益は前年同期比+352億円の9,825億円
 ~預貸金収益は減少するも海外収益・手数料収益増で増益確保

法人連結事業本部粗利益

05上期 9,825億円 (04上期比+352億円)

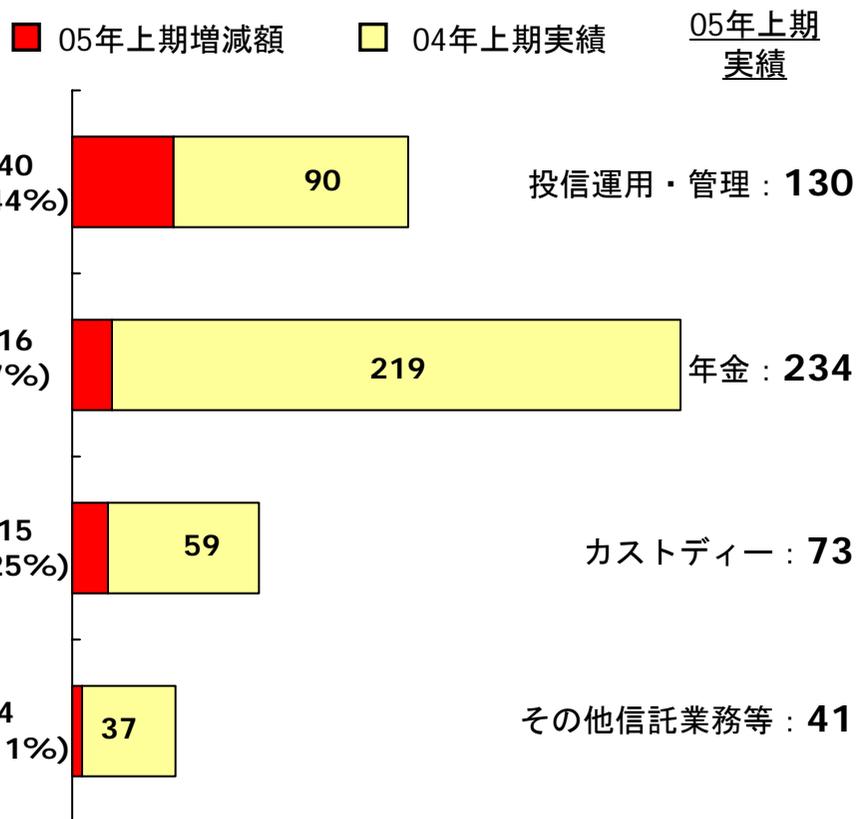


*1 業務間の重複計上を含む

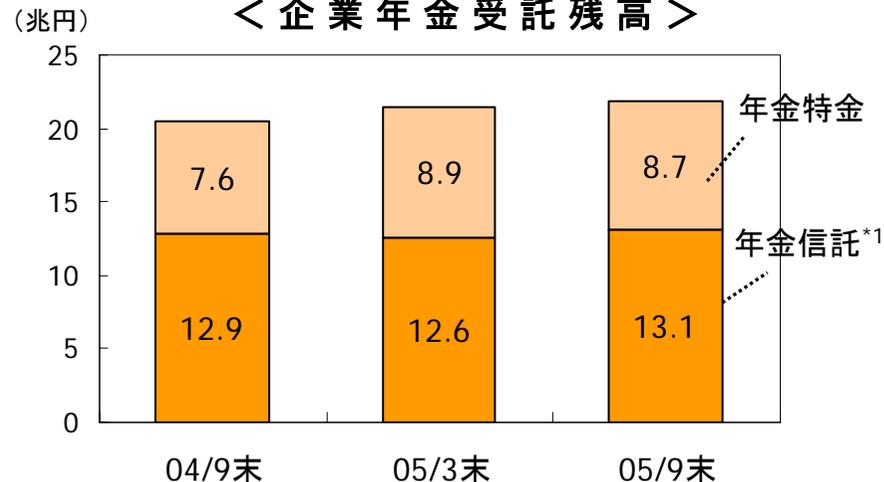
- 業務粗利益は前年同期比+74億円の478億円
～各業務ラインとも着実に収益を積み上げ

受託財産連結事業本部粗利益

05上期 478億円 (04上期比+74億円)

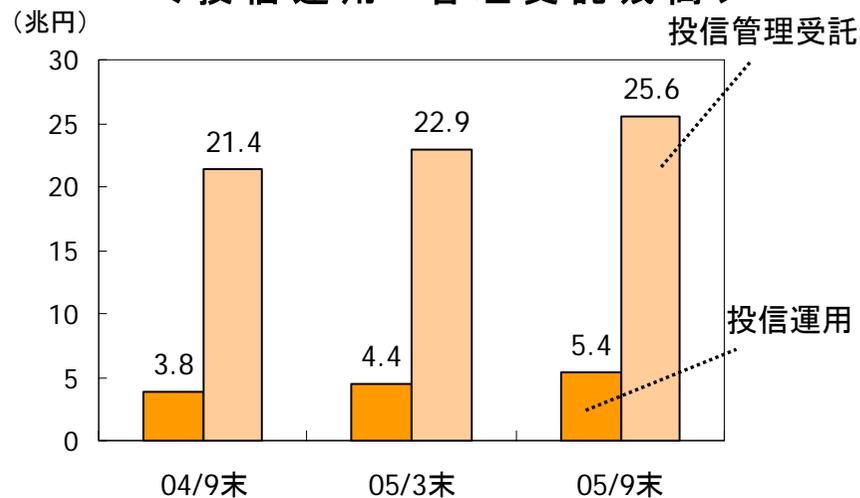


< 企業年金受託残高 >



*1 投資一任勘定を含む

< 投信運用・管理受託残高 >



2005年度第3四半期業績サマリー(P/L)

【連結合算】



(億円)

● 連結粗利益は前年同期比+1,327億円

- 資金利益は前年同期比▲112億円と微減
- 役務取引等利益は、運用商品販売手数料の増加等により同+1,194億円
- 為替売買益等の好調により特定取引利益、その他業務利益（除く国債等債券関係損益）は合算で同+1,114億円

● 営業費は前年同期比+1,115億円

● 与信関係費用は前年同期比9,108億円改善し、2,828億円の益に

● 四半期純利益は前年同期の赤字から10,264億円の黒字に転換

<連結合算P/L>

	04年度第3四半期 (04/4~12) *2	05年度第3四半期 (05/4~12) *2	増減
1 業務粗利益（信託勘定償却後）	24,864	*1 26,191	1,327
2 うち資金利益	13,402	13,290	▲ 112
3 うち役務取引等利益	6,586	7,780	1,194
4 うち特定取引等利益	1,580	846	▲ 734
5 うちその他業務利益	2,346	3,432	1,085
6 うち国債等債券関係損益	1,173	409	▲ 763
7 営業費	12,765	*1 13,880	1,115
8 実質業務純益	12,162	12,320	157
9 臨時損益	▲ 13,831	▲ 1,355	12,476
10 経常利益（損失）	▲ 1,731	10,956	12,688
11 特別損益	5,638	4,094	▲ 1,543
12 四半期純利益（損失）	▲ 1,015	10,264	11,280
13 与信関係費用*3	▲ 6,280	2,828	9,108
14 与信関係費用*3（単体合算）	▲ 5,437	4,047	9,485

(▲は費用)

*1 新たに05年度第3四半期から連結対象となった主要子会社の粗利益約1,000億円、営業費約580億円を含む（但し、連結調整前の概算値）

*2 04年度第3四半期は旧MTFG連結と旧UFJH連結の単純合算、05年度第3四半期は旧MTFG連結（4~9月）、旧UFJH連結（4~9月）、MUFG連結（10~12月）の単純合算

*3 与信関係費用=信託勘定与信関係費用（業務粗利益内）+一般貸倒引当金繰入額+与信関係費用（臨時損益内）+貸倒引当金戻入額



(億円)

- 貸出金は海外貸出や住宅ローンの増加等を主因に前年度末比+21,925億円
- 預金は法人預金の減少を主因に同▲9,644億円
- 金融再生法開示債権は同▲7,844億円と引き続き減少
 - 開示債権比率は2.41%に低下
- 05/12末の自己資本比率は11.51%
 - Tier1比率 5.99%
- 繰延税金資産対Tier1比率は8.7%に低下

<連結合算B/S>

	05年3月末	05年12月末	増減
1 貸出金 (銀行勘定+信託勘定)	850,031	*1 871,957	21,925
[貸出金 (銀行勘定)]	[838,010]	[868,211]	[30,200]
2 うち住宅ローン(単体合算)*2	182,022	186,617	4,595
3 有価証券	505,941	512,567	6,625
4 預金	1,182,744	1,173,100	▲ 9,644

5 金融再生法開示債権 (単体合算)	30,080	22,236	▲ 7,844
6 開示債権比率 (単体合算)	3.33%	2.41%	▲0.91%
7 国内株式評価差額 (その他有価証券で時価があるもの)	13,483	24,980	11,496

<ご参考>

	05年9月末	05年12月末
8 自己資本比率 (Tier1比率) *3	12.00% (6.52%)	11.51% (5.99%)
9 繰延税金資産 (ネット) 対Tier1比率 *3	14.4%	8.7%

*1 新たに05年度第3四半期より連結対象となった主要子会社貸出金約8,800億円を含む (但し、連結調整前の概算値)

*2 賃貸用不動産建築資金を含む

*3 05年9月末のTier 1 額からは、IBMTFGから旧UFJ銀行に対する7,000億円の優先株出資の影響を控除済

2005年度業績予想

【連結合算】



- 貸倒引当金戻入益の増加等を主因に2005年度業績予想を上方修正
- 同時に普通株式の期末配当予想額を増額修正

2005年度通期業績予想

(単位：億円)

【ご参考】 MUFG予想+旧UFJH上期



*1 () 内は2005年11月24日公表の業績予想

普通株式一株あたり配当金予想 (優先株式配当予想は変更なし)

	中間配当(実績)	期末配当金(予想)	年間配当金(予想)
前回予想(05/11/24公表)	3,000円	3,000円	6,000円
今回修正予想	3,000円	4,000円	7,000円

業績の概要

経営統合の進捗状況

経営統合の進捗状況



● 経営統合は着実に進展

経営統合以降の主なトピックス

10月

- **MUFG誕生：持株会社、信託銀行、証券会社、投信会社など合併（10/1）**
- UFJニコス誕生、連結子会社化
- 公的資金優先株返済（3,236億円）

11月

- 2005年度中間決算発表（中間純利益7,117億円^{*1}計上）

12月

- 公的資金優先株返済（2,559億円）

1月

- **三菱東京UFJ銀行誕生（1/1）**
- カブドットコム証券などグループ各社も合併
- UFJニコスとDCカードの合併基本契約締結

2月

- 2005年度第3四半期業績・通期業績予想修正・増配発表

*1 IBMTEGとIBUFJの単純合算

公的資金の返済



- 経営統合直後より公的資金優先株の返済に着手、06年度中の完済を目指す

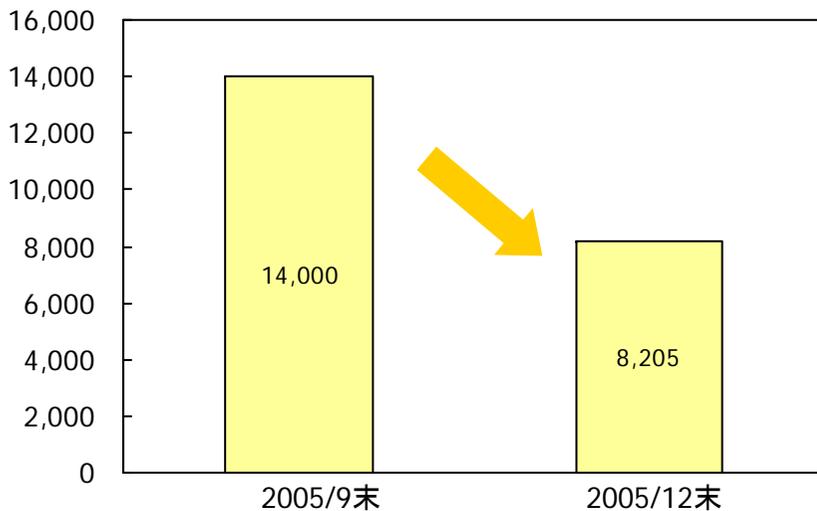
2005年10月5日 公的資金優先株3,236億円返済 (※)

2005年12月7日 公的資金優先株1,804億円返済 (※)

公的資金優先株755億円をRCCより農林中金に譲渡

(※) 全株普通株式に転換 (372.8千株)。なお、同時にTosTNet2を通じて自己株式の取得を実施 (374.1千株)

(億円) 公的資金優先株残高の推移 (2005/9末は旧UFJH)



残存する公的資金 (RCC保有分) 優先株の明細 (2006年1月末時点)

	第8種	第9種	第10種	第12種
当初発行額 (発行株数)	6,000億円 (200千株)	3,000億円 (150千株)	3,000億円 (150千株)	2,000億円 (200千株)
残存額 (残存株数)	1,833億円 ^{*1} (61.1千株)	1,843億円 (92.1千株)	3,000億円 (150千株)	1,529億円 ^{*1} (152.9千株)
現在転換 価額/比率	1,693,500円 ^{*2}	1.826 (1,095,300円)	1.826 (1,095,300円)	796,000円 ^{*2}
転換価額 修正	有 (06.8.1および07.8.1)	有 (08.10.5迄の 毎年10/5)	有 (08.10.5迄 の毎年10/5)	無 (一斉転換時の み有り)

*1 RCCより農林中金への譲渡分 (第8種: 531億円、第12種: 224億円) を除く

*2 下限転換価格/転換比率上限 (期中)

商業銀行の円滑な統合実現（Day1）



- 入念なテストや事前本番稼働など、お客様本位の考えで事前準備を徹底、三菱東京UFJ銀行は順調にスタート

国内

- 勘定系システムは大きなトラブルもなく順調な立ち上がり
市場系システム等はDay1時点で統合済み
- 普通預金の入出金や振込など利用頻度の高い日常の基本サービスは、Day1時点で新銀行のネットワークをフル活用できる基盤を整備、利便性は大きく向上
- 住宅ローンやビジネスローン等の商品性も概ねDay1時点で一本化
- 徹底した行内研修を実施、営業部店での対顧サービスも混乱なくスタート
- 首都圏を中心に近接拠点を物理的に統合、「店舗内店舗」に移行開始

海外

- 海外システムはDay1時点で統合完了、統一した商品・サービスの提供開始
- 制度上、許可が合併後となる中国を除き、拠点統廃合はDay1時点で完了

財務目標



MUFG

- 経済環境の変化やシステム本格統合の影響を受け08年度財務目標を見直し
- 09年度には連結営業純益約2.5兆円、当期利益約1.1兆円を目指す

(単位：億円)

	05年度 収益予想 ^{*1}	08年度 目標	09年度 目標	08年度目標 (05/2発表)
連結営業純益	約16,500	約24,000	約25,000	約25,000
連結経費率	約55%	40%台半ば	40%台前半	40%台前半
連結当期利益	約11,700	約10,000	約11,000	約11,000
連結ROE	-	15%程度 ^{*2}	15%程度 ^{*2}	17%程度

*1 旧UFJホールディングスの2005年度(4月~9月)実績を単純合算

*2 公的資金については05年12月末の残高が不変として算出

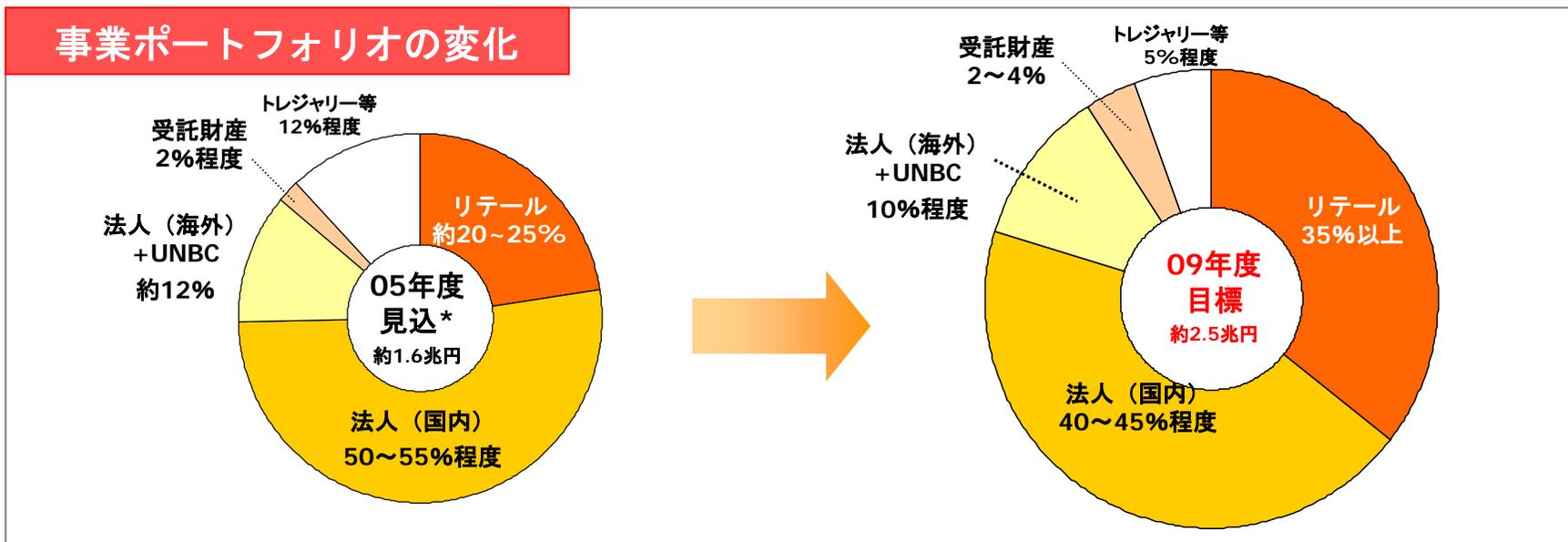
<前提となるマクロ経済シナリオ>

	05年度		06年度		07年度		08年度		09年度
		05/2発表		05/2発表		05/2発表		05/2発表	
3MTibor (期中平均)	0.09%	0.13%	0.24%	0.29%	0.37%	0.41%	0.46%	0.46%	0.48%
10年JGB (期中平均)	1.45%	1.81%	1.89%	2.22%	1.94%	2.29%	2.07%	2.29%	2.13%
ドル円 (期末値)	105円	105円	105円	105円	105円	105円	105円	105円	105円
実質GDP成長率 (年率)	2.68%	1.1%	1.59%	1.9%	1.49%	1.0%	1.81%	1.8%	2.14%

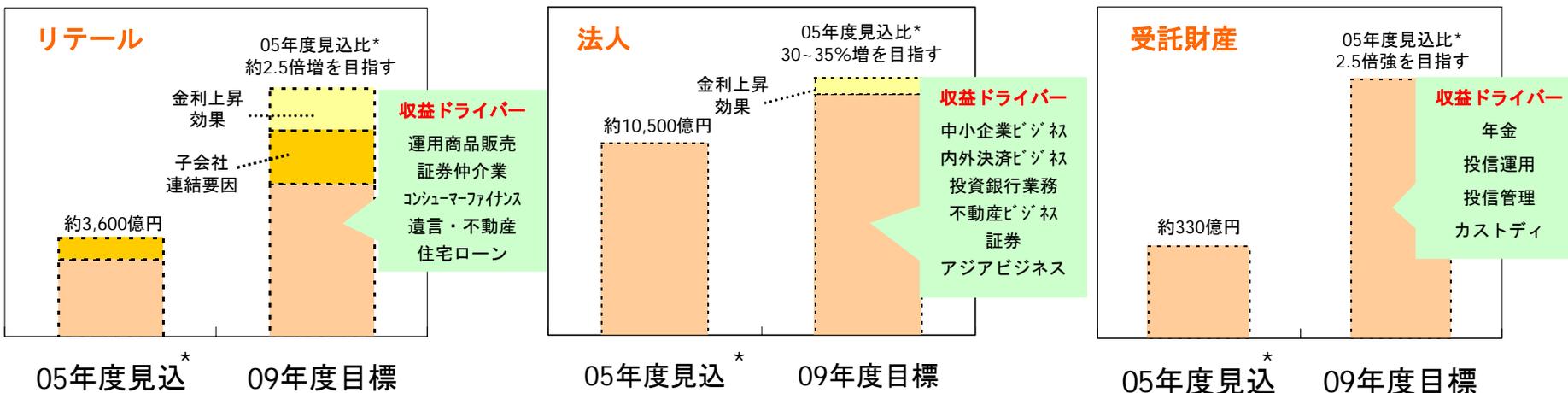
部門別収益目標



● リテール部門を中心に対顧3部門の収益向上を図る



対顧3部門の営業純益目標

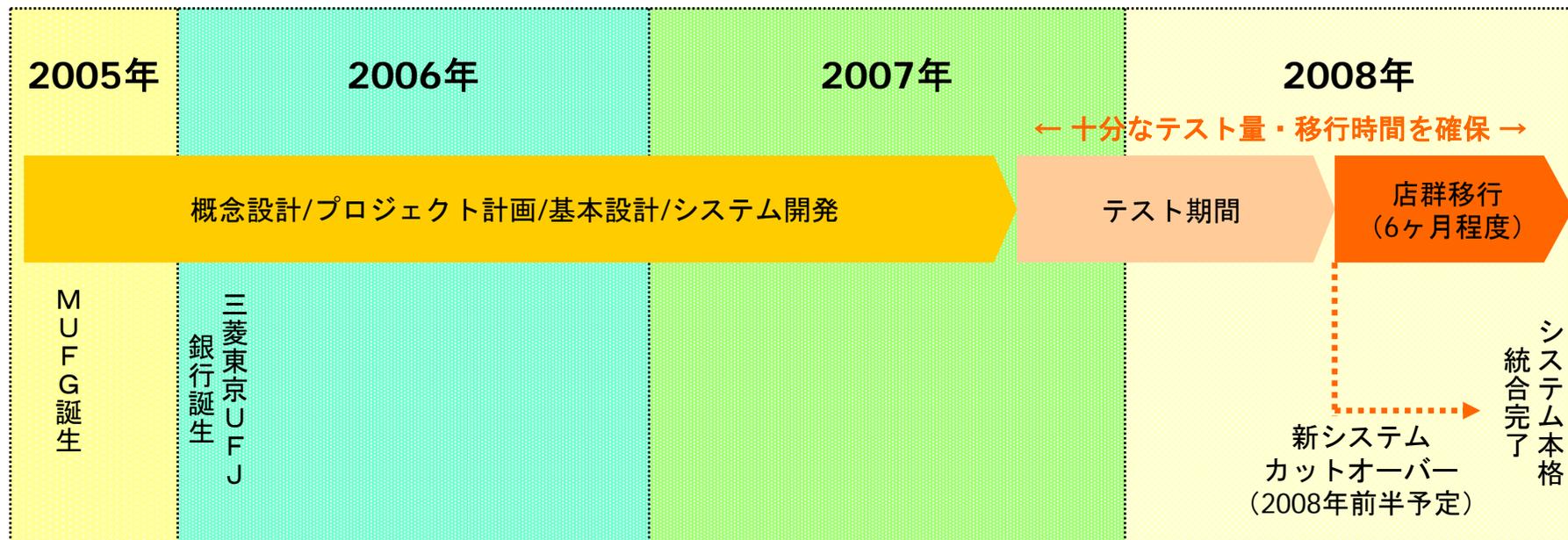


* 旧UFJホールディングスの2005年度（4~9月期）実績を単純合算

システム本格統合 (Day2) について

- システムの安定性・安全性に対する社会的要請の高まり等を踏まえ、システム障害回避の観点から万全にも万全を期すべく、商銀の新システムの稼動開始は2008年前半を目指す
- 新システムへの移行リスクを極小化するため、慎重な「店群移行方式」を採用、お客さまには順次、新システムによるサービスの提供を開始
- 信託銀行は業務毎に順次新システムに移行、07年度中にほぼ完了する予定

商業銀行システム本格統合スケジュール

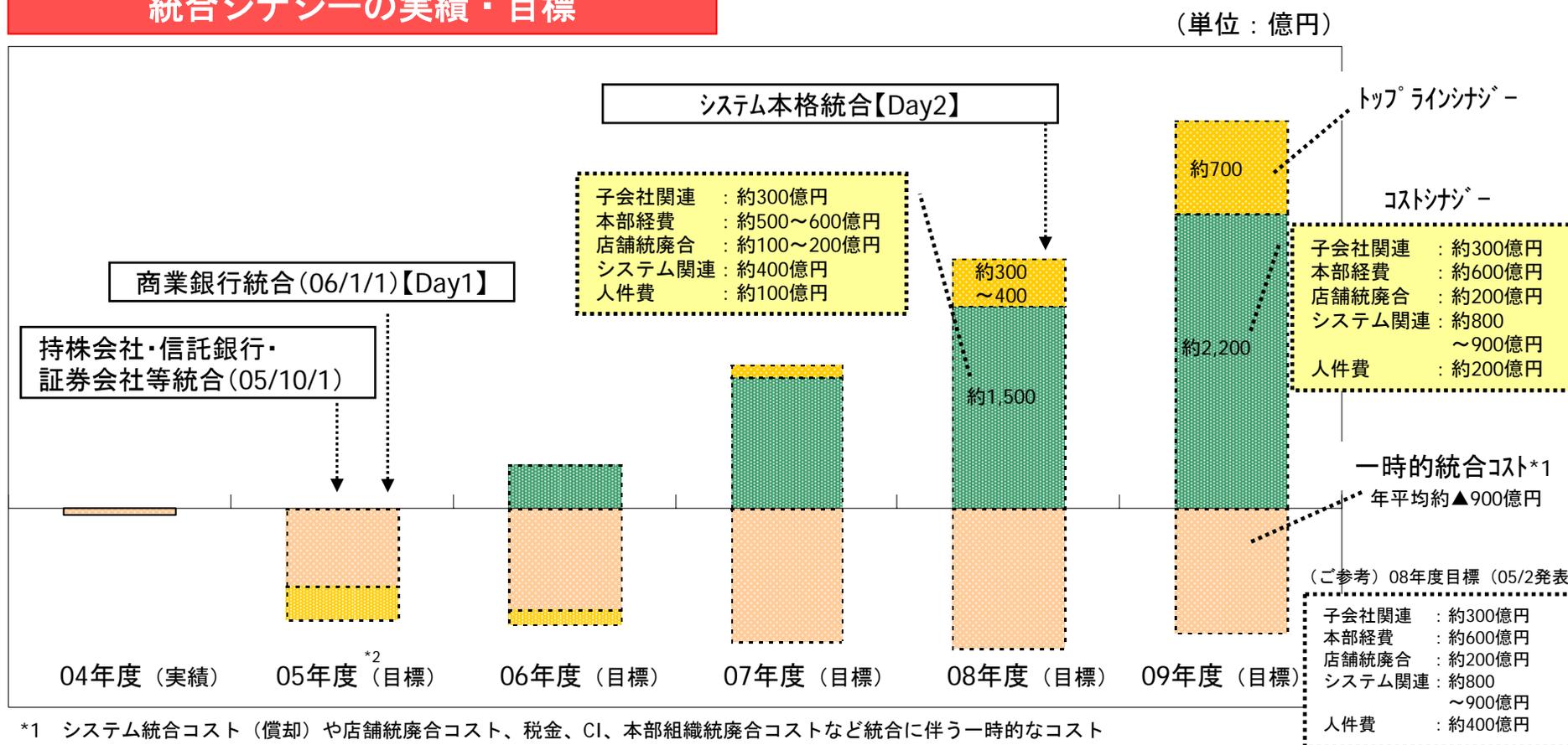


統合シナジーの発現



- 統合シナジーは09年度には略フル発現を目指す（08年度には略50%フェーズイン）
- 09年度のコストシナジーは約2,200億円、一時的統合コスト*1は年平均約900億円を目指す
- トップラインシナジーは09年度に約700億円を目指す

統合シナジーの実績・目標



*1 システム統合コスト（償却）や店舗統廃合コスト、税金、CI、本部組織統廃合コストなど統合に伴う一時的なコスト

*2 05年度には一時的統合コスト以外に、約2,900億円の臨時損失・特別損失（除却損、引当金繰入等の非資金費用が中心）の発生を見込む

サービス No.1

信頼度 No.1

国際性 No.1



MUFG

Appendix

【ご参考】健全化計画の概要（1）



(図表1-2)収益動向及び計画[2社単体合算ベース：三菱東京UFJ銀行+三菱UFJ信託銀行]

	17/3月期 実績(注2)	17/9月期 実績(注2)	18/3月期 見込(注2)	19/3月期 計画	20/3月期 計画	21/3月期 計画	22/3月期 計画		17/3月期 実績(注2)	17/9月期 実績(注2)	18/3月期 見込(注2)	19/3月期 計画	20/3月期 計画	21/3月期 計画	22/3月期 計画
(規模)×資産、負債は平残、資本勘定は未残)								(経営指標)							
(億円)								(%)							
総資産	1,836,814	1,798,557	1,747,719	1,720,095	1,737,737	1,761,149	1,771,464	資金運用利回(A)	1.45	1.57	1.49	1.57	1.62	1.75	1.77
貸出金	821,280	798,431	800,821	769,168	775,844	789,412	800,769	貸出金利回(B)	1.61	1.66	1.67	1.80	1.88	1.96	1.99
有価証券	528,639	525,180	519,311	523,291	534,878	543,124	545,054	有価証券利回	1.09	1.22	1.24	1.36	1.41	1.46	1.48
特定取引資産	72,179	68,072	52,896	52,896	52,896	52,896	52,896	資金調達原価(C)	1.07	1.20	1.22	1.28	1.29	1.30	1.25
繰延税金資産<未残>	16,124	10,006	8,570	4,269	0	0	0	預金利回(含むNCD/D)	0.21	0.34	0.35	0.37	0.40	0.45	0.46
総負債	1,783,001	1,743,540	1,683,120	1,659,461	1,674,288	1,693,994	1,699,878	経費率(E)	0.82	0.87	0.93	0.98	0.97	0.93	0.86
預金-NCD	1,208,772	1,189,790	1,191,609	1,167,318	1,183,575	1,202,585	1,216,068	人件費率	0.27	0.30	0.31	0.33	0.33	0.33	0.32
債券	682	0	0	0	0	0	0	物件費率	0.50	0.51	0.56	0.59	0.58	0.55	0.49
特定取引負債	31,815	29,001	8,529	8,529	8,529	8,529	8,529	総資金利回(A)-(C)	0.37	0.37	0.27	0.29	0.34	0.45	0.51
繰延税金負債<未残>	0	0	0	0	644	6,168	6,168	預資金利回(D)-(E)	0.56	0.45	0.40	0.45	0.51	0.59	0.67
再評価に係る繰延税金負債<未残>	1,988	2,123	2,037	2,037	2,037	2,037	2,037	非金利収入比率	31.90	31.77	34.74	36.58	38.19	38.71	38.74
資本勘定計	64,263	75,762	69,861	74,845	80,723	88,416	96,859	OHR(経費/信託勘定償却前業務純益)	43.76	45.73	49.61	50.69	46.77	41.17	38.42
資本金	27,603	28,603	13,213	13,213	13,213	13,213	13,213	ROE (一般貸引前信託勘定償却前業務純益/資本勘定<平残>)	23.54	19.92	18.86	17.21	18.63	20.89	20.07
資本準備金	19,327	13,650	28,688	28,688	28,688	28,688	28,688	ROA(注3)	0.83	0.81	0.76	0.76	0.88	1.05	1.10
その他資本剰余金	0	0	0	0	0	0	0	(注3)一般貸引前信託勘定償却前業務純益/(総資産-支払承認見返)<平残>							
利益準備金	2,637	2,637	2,638	2,638	2,638	2,638	2,638								
剰余金(注1)	4,622	16,599	12,944	17,928	23,807	31,499	39,942								
土地再評価差額金	2,474	2,371	2,372	2,372	2,372	2,372	2,372								
その他有価証券評価差額金	7,598	11,900	10,007	10,007	10,007	10,007	10,007								
自己株式	0	0	0	0	0	0	0								
(収益)								(億円)							
業務粗利益	26,065	12,880	25,094	25,247	27,220	30,024	30,189								
信託報酬	1,352	554	1,073	875	957	1,074	1,143								
うち合同運用指定金銭信託分	588	203	306	65	54	50	31								
うち信託勘定不良債権等処理額(A)	121	9	9	0	0	0	0								
資金運用収益	21,197	11,443	22,235	22,540	23,745	25,895	26,230								
資金調達費用	5,675	3,995	7,709	7,885	8,305	9,071	9,159								
役員取引等利益	5,011	2,658	5,589	6,298	7,033	7,945	8,035								
特定取引利益	907	256	1,069	1,280	1,550	1,606	1,617								
その他業務利益	3,271	1,963	2,837	2,140	2,240	2,576	2,323								
国債等債券関係損(▲)益	1,074	526	396	▲19	22	117	117								
業務純益(一般貸引当金繰入前信託勘定償却前) (B)+(A)+(C)	14,725	6,993	12,650	12,450	14,490	17,663	18,591								
業務純益(B)	14,537	6,984	12,641	12,496	14,667	17,654	18,568								
一般貸引当金繰入額(C)	65	0	0	▲46	▲177	9	23								
経費	11,462	5,895	12,452	12,797	12,730	12,361	11,598								
人件費	3,874	2,053	4,234	4,363	4,384	4,389	4,280								
物件費	6,967	3,500	7,467	7,738	7,654	7,309	6,655								
不良債権処理損失額	11,954	608	1,312	1,098	2,133	2,001	2,061								
株式等関係損(▲)益	▲2,667	252	1,027	0	0	0	0								
株式等償却	▲5,204	▲161	▲517	0	0	0	0								
経常利益	▲2,188	5,680	10,922	10,631	11,978	15,033	16,089								
特別利益	3,735	5,309	7,060	0	0	0	0								
特別損失	589	573	1,199	340	182	180	170								
法人税等	4,648	3,291	5,011	4,301	4,913	6,155	6,469								
税引後当期利益	▲3,691	7,125	11,772	5,990	6,884	8,698	9,449								
(配当)								(億円、円、%)							
配当可能利益	2,421	-	10,970	15,954	21,832	29,525	37,968								
配当金総額(中間配当を含む)															
配当性向															

(注1)利益剰余金のうち、利益準備金以外のもの。

(注2)17/3月期、17/9月期は、旧東京三菱銀行、旧UFJ銀行、旧UFJ信託銀行の合算、

18/3月期は、三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、旧UFJ銀行、旧UFJ信託銀行の合算。

【ご参考】健全化計画の概要（2）



経営合理化計画の概要

単位：億円	17/3 実績	18/3 見込	19/3 計画	20/3 計画	21/3 計画	22/3 計画
人件費+物件費	10,922	11,805	12,175	12,094	11,752	10,989
OHR（%）	43.76	49.61	50.69	46.77	41.17	38.42

人件費

	17/3 実績	18/3 見込	19/3 計画	20/3 計画	21/3 計画	22/3 計画
人件費（億円）	3,912	4,277	4,409	4,428	4,431	4,320
従業員数（人）	38,798	38,677	37,050	36,625	36,332	34,882

物件費

単位：億円	17/3 実績	18/3 見込	19/3 計画	20/3 計画	21/3 計画	22/3 計画
物件費	7,009	7,528	7,766	7,666	7,321	6,669
うち機械化関連	2,386	2,595	2,939	2,959	2,939	2,443
除く機械化関連	4,623	4,933	4,827	4,707	4,382	4,226

店舗数

単位：店	17/3 実績	18/3 見込	19/3 計画	20/3 計画	21/3 計画	22/3 計画
国内店舗	684(683)	684(677)	684(598)	688(602)	627(580)	565(562)
海外支店	65	47	47	47	47	47

※（ ）内の数字は店舗内店舗による統合を含めたベース